

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
スターウッドBeB美容専門学校	平成20年3月26日	川満 秀昭	〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-9-8 (電話) 098-898-0701				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人SOLA沖縄学園	平成21年3月23日	仲田 雅彦	〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-9-8 (電話) 098-898-0701				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門課程	美容師学科	平成28年文部科学省 告示第18号				
学科の目的	美容師国家資格取得を基本に、美にまつわる数多くの資格取得を目指します。美容師に必要な専門技術並びに理論を習得させる事はもちろん職業を通じて社会及び美容業界の発展に貢献できる能力の育成と技術の向上に努め、明日の業界を担い得る人材となる様指導する。美容師資格がないとできないまつ毛エクステンション、ヘッドスパ、福祉美容師をはじめとし、エステやネイルまで幅広くスキルを身に付けます。						
認定年月日	平成27年3月25日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	2年	2010時間	660時間		1350時間		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	56人		5人	13人	18人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準:満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。成績評価は、定期試験、平常の成績、実習等成果により行う。			
長期休み	■夏季:9月1日～9月30日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■春季:3月21日～4月5日	卒業・進級条件		進級条件:1年次修了時に進級試験に合格した者。 卒業条件:2年次修了時に教育課程に定められた必修科目を履修し、卒業認定試験に合格した者。			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学級担任による個人面接の実施、校長を含めた保護者との面談等を行う。	課外活動		■課外活動の種類 美容ボランティアや介護施設等(授業の科目として)に担当講師と共に訪問を行い施設を利用されている方々と触れ合う。			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 美容室		主な学修成果(資格・検定等)※3	■サークル活動: 有			
	■就職指導内容 美容室 ■卒業者数 19 人 ■就職希望者数 19 人 ■就職者数 19 人 ■就職率 : 100 %			■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年6月27日時点の情報)			
■卒業者に占める就職者の割合		:		100 %			
■その他 ・進学者数: 0人		:		100 %			
(平成 29 年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)		:		100 %			
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 平成29年4月1日時点において、在学者39名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者56名(平成30年3月31日卒業生を含む)		■中退率 0 %		■中途退学の主な理由		
■中退防止・中退者支援のための取組		入試段階で詳しい学科説明・中・高での出席状況の把握、入学してからの定期面談などを取り入れ、学級担任、学科会議等で面談も実施します。					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・SOLA沖縄学園奨学制度 ・入学金減免制度		■専門実践教育訓練給付: 給付対象				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無						
当該学科のホームページURL	http://www.sola.ac.jp/starwood/guide						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内の本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
- ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
- (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
- (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容師に必要な専門技術並びに理論を習得させる事は勿論のことであり、職業を通じて社会及び美容業界の発展に貢献できる能力の育成と技術の向上に努め、さらに美容師業界で高齢者や介護者における美容の業について今後の方向性や日々変化していく知識や技術を、実務に携わっている専門家の意見を取り入れながら教育課程に反映し改善させていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は学校職員(学内教育課程委員)と企業関係者等の外部委員で構成される。当会議の中で教育課程編成委員の意見・提言を基に議論し、カリキュラムに取り入れ、より発展的な教育課程の編成を行うものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年9月21日現在

名前	所属	任期	種別
山内 優子	沖縄県美容業生活衛生同業組合 理事長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	①
與儀 美登子	沖縄県美容業生活衛生同業組合 副理事長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	①
上地 武	ヘアアンドヘッドスパ クークー 代表者	H30・4・1～32・3・31 (2年)	③
小田 正美	SOLA沖縄保健医療工学院 学校長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	
小田 正美	スターウッドBeB美容専門学校 学校長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	
川満 秀昭	SOLA沖縄学園 学園長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	
川満 昭広	SOLA沖縄学園 専務	H30・4・1～32・3・31 (2年)	
宮国 智美	スターウッドBeB美容専門学校 美容師学科長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	
中村 昌利	スターウッドBeB美容専門学校 教学部長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 11月及び1月

(開催日時)

第1回 平成29年6月29日 14:00～16:00

第2回 平成30年 1月17日 14:00～16:00予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①委員からの「介護美容師の導入の検討」の意見に対し、養成校指定規則に基づくカリキュラムの履修は勿論のこと、美容福祉の講義を開設している本学園としては、「沖縄県美容業生活衛生同業組合団体」との連携を密にし、高齢者や介護者への美容の業の対応並びに沖縄県の多数の高齢者を抱えている現状をふまえて、これからの高齢者への美容の業に対応すべく知識や技術のカリキュラム導入意見を参照し、平成28年度教育課程改革検討委員会並びに教育課程編成委員会に付し、審議をおこなって参ります。

②委員からの「授業評価をすること」「卒業生による講話等の導入」という意見に対しては、平成28年度においても教員の授業に対する学生の評価アンケートを年間1回実施してきましたが、本年度は前期、後期の年2回のアンケート実施をおこないます。また、学生の学習への意識高揚を図るために、外部の美容師関係者及び美容師学科卒業生等を招聘して参ります。

③委員からの「英語のみではなく、他の外国語も導入できないか」という意見に対して、外国語のカリキュラム導入に関して、今後の教育課程編成委員会で検討して参ります。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

高齢者や福祉・介護者に対応しながら美容の施術がどの様に行うことができるのかを連携企業の専門の方々から技術・知識等を学び、実践的かつ即戦力となる人材育成を行うことを目的とし、美容福祉実習依頼書・承諾書等による企業との連携を基本とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

社会福祉のテキストを用いた講義を10回(毎回90分)、実習5回(毎回180分)を学ぶ。実習の各施設は高齢者支援施設、障害者支援施設・児童養護施設・その他で、実際に美容ボランティア活動を体験し、社会福祉学における美容福祉を学ぶ。また、心理療法を2回取り入れる事によって、心理的なサポート技術等も学ぶ。今年度ボランティアの施設は老人ホーム「サンハート」嘉手納町で行う。実習期間中は、担当教員が実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には、実習担当者による生徒の学習成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容福祉	講義で社会福祉学を学ぶのみならず、実際に福祉現場で、美容ボランティア活動に参加する事によって、支援が必要な人々に接する体験をする。また、社会福祉における美容技術等の役割を体験する事によって、将来、すべての人に対し、高齢化社会に貢献できる人材を育てる。	在宅型有料老人ホーム デイサービスセンター サンハート
美容総合技術	社会人・専門的技術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身に付け、それを応用し新たな技術を生み出す為の総合的能力を習得させることを目的とする。ヘアショー・スチューデントサロンワーク・作品制作等やエステティック高度技術(心身の健康と美の重要性)を学ぶ。	f' INKONTORO

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の実践的かつ専門的能力向上のため、関連企業での実習を生徒と同様に介護福祉(美容福祉)に関する実務に即した最新の動向や知識・技術を学ぶ機会を設け、教員の資質向上を図り、これらを学生指導に役立てる。さらに、教授法や指導案・シラバス等の作成についても研修を実施し、授業改善に役立てる。また、教員に対し、学内のみでなく、外部で開催される研修等にも積極的に参加し、常に最新の技術や知識を習得する機会を組織的に提供できるシステムを構築する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

㊦ 研修名:美容の実技講習(まつ毛エクステンション)

対象:美容師学科専任教員1人

内容:「美容の実技実習のテクニック等において、教員の実技向上の養成するに足る指導者として知識及び技能を修得することを目的とする」

期間:平成29年2月20日～2月24日、平成29年3月13日～3月17日

連携先:公益社団法人 日本理容美容教育センター

㊧ 研修名:九州地区理容師美容師養成施設教職員研修会

対象:美容師学科専任教員1名

内容:「日本理容美容教育センターよりの連絡事項について」、「第10回全国理容美容学生技術大会九州地区大会に関する事項」、「平成30年度九州地区理容師美容師養成施設教職員研修会」等について、実際の現場の状況や制度を把握することに

よって、諸々の状況に対応することが出来るスキルを学び、終了後学科教員に伝授した。

期間:平成29年10月30日

連携先:九州地区理容師美容師養成施設協議会 事務局(ハリウッドワールド美容専門学校)

② 指導力の修得・向上のための研修等

㊦ 研修名:スターウッドBeB美容専門学校春季教員研修会

対象:スターウッドBeB美容専門学校教員全員

内容:講師としての心構え・講義法・指導案の作成・板書のテクニック等について研修会を行う。

期間:平成29年4月7日

連携先:一般社団法人 アスリート工房

①研修名:スターウッドBeB美容教員夏季研修会

対象:スターウッドBeB美容専門学校全教員

内容:来校型企业説明会(美容の業に関する最新機材技術の進歩や就職の状況)

期間:平成29年7月22日

連携先:f' INKONTORO

㊦研修名:美容の実技講義の講習

対象:美容師学科専任教員全員

内容:「美容の実技講義のテクニック等において、教員の講義方法の向上としての視聴覚教材を活用して指導者として知識及び技能を修得することを目的とする」

期間:平成29年8月11日

連携先:専門学校 金沢美専

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

㊦研修名:美容の実技講習

対象:美容師学科専任教員全員

内容:「美容の実技実習のテクニック等において、教員の実技向上の養成するに足る指導者として知識及び技能を修得することを目的とする」

期間:平成30年7月6日

連携先:専門学校 金沢美専

②指導力の修得・向上のための研修等

㊦研修名:美容の実技講義の講習

対象:美容師学科専任教員1人

内容:「まつ毛エクステンション」指導者養成研修会において、教員の講義方法の向上としての視聴覚教材を活用して指導者として知識及び技能を修得することを目的とする。

期間:平成30年2月5日～2月9日、平成30年2月19日～2月23日

連携先:公益社団法人 日本理容美容教育センター

①研修名:スターウッドBeB美容専門学校春季教員研修会

対象:スターウッドBeB美容専門学校教員全員

内容:講師としての心構え・講義法・指導案の作成・板書のテクニック等について研修会を行う。

期間:平成30年4月6日

連携先:一般社団法人 アスリート工房

㊦研修名:九州地区理容師美容師養成施設 教職員研修協議会

対象:美容師学科専任教員1人

内容:理容美容学生競技大会における「競技・審査・監視規定」の指導方法等について研修を行う。

期間:平成30年5月15日

連携先:九州地区理容師美容師養成施設協議会 事務局(ハリウッドワールド美容専門学校)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、学校が実施した自己評価を基に、企業・保護者やその他の関係者が、学校と共同して、それぞれの立場、視点から意見を出し合い、議論することで、より良い学校づくりを目指すものである。そのことにより各評価項目について、改善すべきところを改め、学校の質の向上を図ることを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営

(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- ① 委員からの「社会人としてのマナー(積極的な挨拶・道徳)等を授業の一環として取り入れて欲しい」という意見があり、「美容総合技術」の中に「接客マナー」の教科科目として既に取り組んでいます。
- ② 委員からの「受験生(美容師資格受験者)としての知識・技術・努力する意識向上が早い段階から必要」という意見があり、美容師学科専任・兼任講師が学生一人一人の状況を把握し、更に細かい学生指導に努めています。
- ③ 委員からの「授業後の実技・講義の補講に対するできるだけ十分な時間が必要では」という意見があり、放課後2～3時間の実技・講義の質問に対する時間を設置、実施を専任講師が行っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
山内 優子	沖縄県美容業生活衛生同業組合 理事長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	企業等委員
與儀 美登子	沖縄県美容業生活衛生同業組合 副理事長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	企業等委員
上地 武	ヘアードヘッドSPA クークー 代表者	H30・4・1～32・3・31 (2年)	企業等委員
上地 安史	保護者	H30・4・1～32・3・31 (2年)	PTA
山内 彩梨沙	卒業生	H30・4・1～32・3・31 (2年)	卒業生
川満 正秀	元高校教務部長	H30・4・1～32・3・31 (2年)	学識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法: ホームページ (URL: <http://www.sola.ac.jp/starwood/guide/>)

公表時期: 平成30年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当該企業等に関して、本校の現状について定期的に情報提供していくことを基本とし、年2回資料を配布し、意見交換を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	(2)各学科等の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援

(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.sola.ac.jp/starwood/guide/>

授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科) 平成〇〇年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	社会における法の役割、法と政治の関係、法の種類及び衛生法規について学び、美容師が社会で働くためには、法制度に従って働くことが必要であり、かつまた、美容師という仕事も法制度によって社会に位置づけられていることを理解してもらう。	2前	30	1	○			○			○	
○			衛生管理	公衆衛生、環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させ、なおかつ、感染症予防、美容器具などの消毒方法等を美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であることを具体的に理解させる。	1通2前	90	3	○			○			○	○
○			美容保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。	1通2前	120	4	○			○			○	○
○			美容の物理・化学	物理・化学の基本原理解について理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つことを理解させ、美容器具や香粧品の合理的な取扱方法に習熟させる。また、美容器具や香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。	1通2前	90	3	○			○			○	
○			美容文化論	さまざまな髪型・化粧・服装のトータルファッションの歴史を学ぶことで流行のメカニズムを知り、時代を読み、芸術的な表現力と観察力を養い、確かな技術力、感性を身につける。併せてファッションの造形色彩の原理などを学ぶことにより感性を高めていく目的とする。	1通2前	90	3	○			○			○	○
○			美容技術理論	美容の基礎的な理論と技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身につけさせると同時に美容器具・薬品・薬剤の正しい知識をもち、使用方法についても習熟させる。又、個々の技術習得はそれぞれ理論と動作を並行して具体的に履修させ、より効果的に習得させる。	1通2前	120	4	○			○			○	
合計				科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件：学科の教育課程に定められた必修科目のうち、卒業学年度までに履修しなければならない科目を修得した者。卒業条件に該当しないものは、原級留置とする。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容師学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			美容運営管理	経営管理の基本的事項を学習し、美容業における経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせる。また、適切な接客態度の重要性を自覚させるとともに消費者対応の基本を学び、実践する能力を身に付けさせる。	1 通2 前	60	2	○			○		○		
○			美容実習	美容技術の基礎的な操作を理論との連携を図りながら確実に身に付け完成度の高い技術を、日々の反復練習で習得させること。衛生管理の重要性、消毒等の適切な実施方法、薬剤や化粧品の使用方法を習得させる事を目的とする。	1 通2 通	810	27		△	○	○		○		
○			美容総合技術	社会人・専門的技術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出す為の総合的能力を習得させることを目的とする。	1 通2 通	510	17		△	○	○		○	○	○
○			コミュニケーション	社会人としての自覚を養い、習得した基礎知識や技術を確実に実施できる能力を身につけることを目的とする。	1 通	30	1	○		△	○		○	○	
○			情報	情報機器活用により日常業務の効率化、合理化を身につける。	1 前	30	1		○		○		○		
○			美容福祉	講義で社会福祉学を学ぶのみならず、実際に福祉現場で、美容ボランティア活動に参加する事によって、支援が必要な人々に接する体験をする。また、社会福祉における美容技術等の役割を体験する事によって、将来、すべての人に対し、その社会に貢献できる人材を育てる。	1 後	30	1	△		○	△	○	○	○	○
合計			12 科目		2010 単位時間(67単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件：学科の教育課程に定められた必修科目のうち、卒業学年度までに履修しなければならない科目を修得した者。卒業条件に該当しないものは、原級留置とする。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。